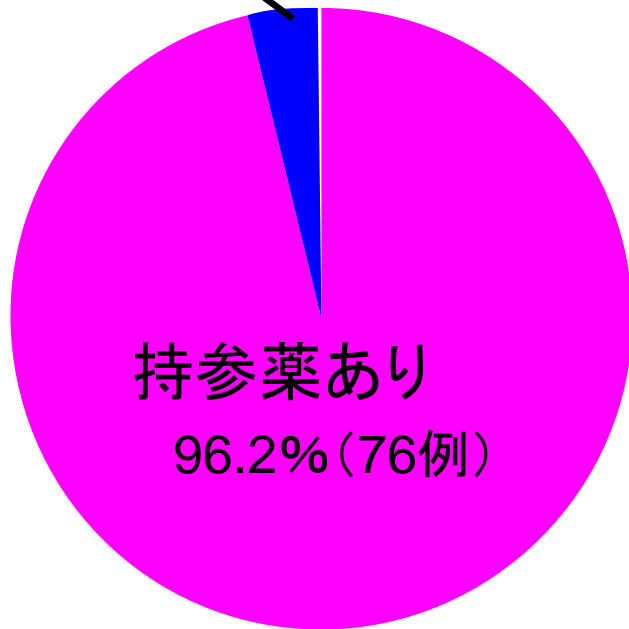


持参薬の現状

H18年10月、循環器科の入院患者、平均持参薬品目数:7.5剤
医療用医薬品、市販薬、健康食品 総品目数:570剤

持参薬なし
3.8% (3例)

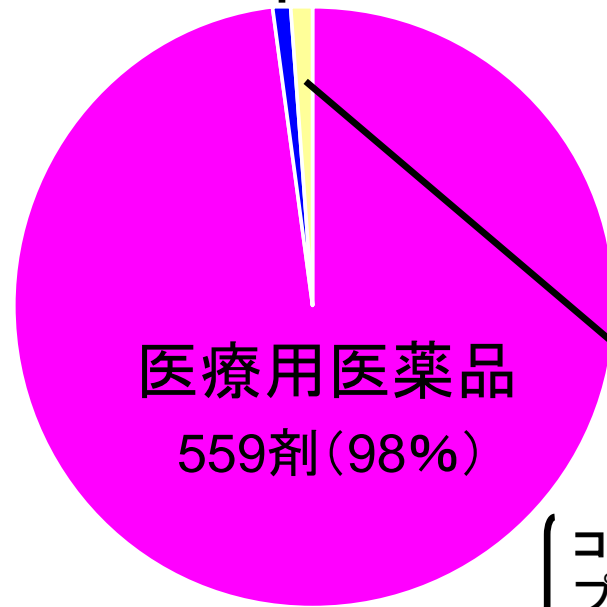


持参薬あり
96.2% (76例)

N=79

市販薬
4剤 (0.8%)

{ 便秘薬
ビタミン剤
整腸薬



医療用医薬品
559剤 (98%)

N=76

健康食品
7剤 (1.2%)

{ コエンザイムQ10
プルーン
酵母
ニンニクエキス³¹

持参薬に関連した薬剤師の処方提案

- 1. 腎機能に応じた投与量の修正提案：14件**
H2ブロッカー、高脂血症用剤、アロプリノール等の用量が腎機能を考慮すると過量で、副作用発現のおそれがあると評価。副作用防止の為、薬剤師が医師へ減量提案、全例医師承認。
- 2. 手術前に抗血小板薬を服薬発見：10件**
血小板機能を抑制する薬剤を服用中の患者について、止血困難が予想されるため、一時中止の処方提案、全例医師承認。
- 3. 患者の勘違いによる用法違いの発見：3件**
患者面談により、「食前服用が必要な糖尿病治療薬(α -GI)を、食後に服用していた」などを発見した。
食前服用の意義を説明し、正しい用法で服用することの理解が深まる。医師へ情報提供し、今後の処方の参考とすることとなる。